

福山市東京事務所は

問 ①役割や目的をどのように位置付け、どのような成果を上げているのか。

②東京事務所の存在意義は。

答 ①昭和45年の開設以来、中央省庁等に対する提言活動の拠点として、また市政に関する必要な事項の情報収集や個別政策案件に関する連絡調整の窓口としての役割を担い、近年は都市宣伝に係るさまざまな取り組みも積極的に展開している。この結果、本市の知

名度や好感度の向上、首都圏からの観光誘客の増加などに寄与しているものと考えている。

②フェース・トゥ・フェースの機微に触れた情報の入手や調整は、本市にとって必要不可欠であると認識している。最近では、連携中核都市圏構想において、備後圏域が全国のトップランナーとなり得たのも、関係省庁からの情報収集や省庁との事前調整等において、東京事務所が機能を発揮した成果であると受け止めている。

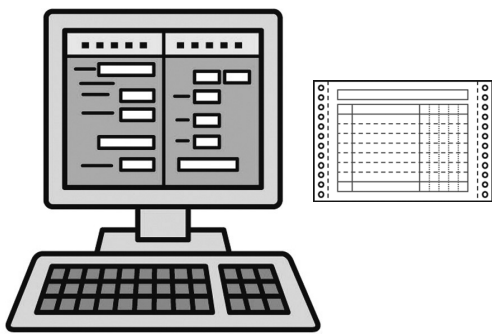
公共施設等サービス再構築基本方針について

問 公共施設等に係る資料や情報のデータベースの一元管理は。

答 これまでも公共施設の建築年数、施設の利用状況など公共施設全般に関する情報を活用する中で、整備計画等を策定してきた。

現在、資産の状況を把握するため、取得費用等の情報を取り入れた固定資産台帳を整備しているところであり、今後これらのデー

タを一元的に活用し、公共施設等の計画的な再整備に取り組む。



誠 勇 会



稲葉誠一郎

新たな中小企業支援拠点 (仮称) fukuBizとは

問 ①事業の具体と展開は。
②今後のスケジュールは。

答 ①中小企業が経営基盤の強化に注力する分野として「営業力・販売力の強化」が圧倒的に多い調

次期スポーツ振興基本計画の策定は

問 スポーツ振興基本計画は平成19年に策定され、平成28年度には最終評価を行うとされている。最終年度に向けての対応と、今後の思いは。

答 評価に当たり、市民を対象としたアンケート調査を実施し、数値目標の達成状況や事業の進捗状況などを評価分析する。

また、策定委員会を設置し、スポーツをめぐる社会情勢や、最終

査結果が出ている。これを踏まえビジネスセンスに優れた専門家を配置し、レベルの高い戦略的な販売方法や販路開拓に関する相談に対応し、売り上げ向上や創業支援による「稼ぐ力」に重点を置いた相談支援を行う。また、金融機関への働きかけなど、実効性のある支援を行うとともに、フクビズの知見やノウハウを産業施策へと展開し、地域経済の活性化を図る。

②全国公募で優れた人材を採用し中小企業支援で全国的に評価の高い富士市の「エフビズ」での長期研修を行う。エフピコRiMi階で12月から相談事業を開始する予定。

評価の中で明らかとなる成果や課題を踏まえて素案を作成し、スポーツ振興審議会の開催やパブリックコメントの実施など、次期計画の策定に向けた取り組みを進める。

今後もスポーツを通して、全ての市民が健康で生きがいを持って豊かな生活を送ることができるよう、スポーツ人口の裾野の拡大や競技力の向上など、市民やスポーツ団体学校、民間企業など、多様な主体との連携を図りながら、本市のスポーツ振興に努める。

※まつながカープデー (P.6)：誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりを目的として、2009年度(平成21年度)から実施している。開催にあたりイベントの名称を募集したところ、日系ブラジル人の青年からラテン語で「今日一日を有意義にすごそう」という意味のカープデー (Carpe Diem) という提案をいただき、まつながカープデーとしたもの。